



寄せられた声を  
市政にいかします

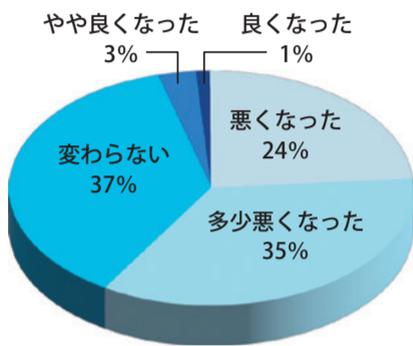
# 市政アンケートに 1万を超える返信

## 市民の暮らし

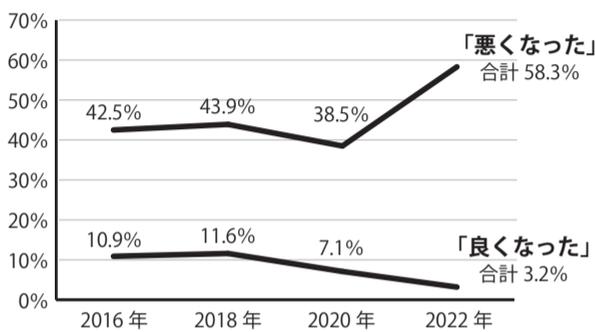
# 「悪くなった」が6割に



暮らし向きは？



「暮らし向きの変化」の推移



## 物価高騰が大打撃に

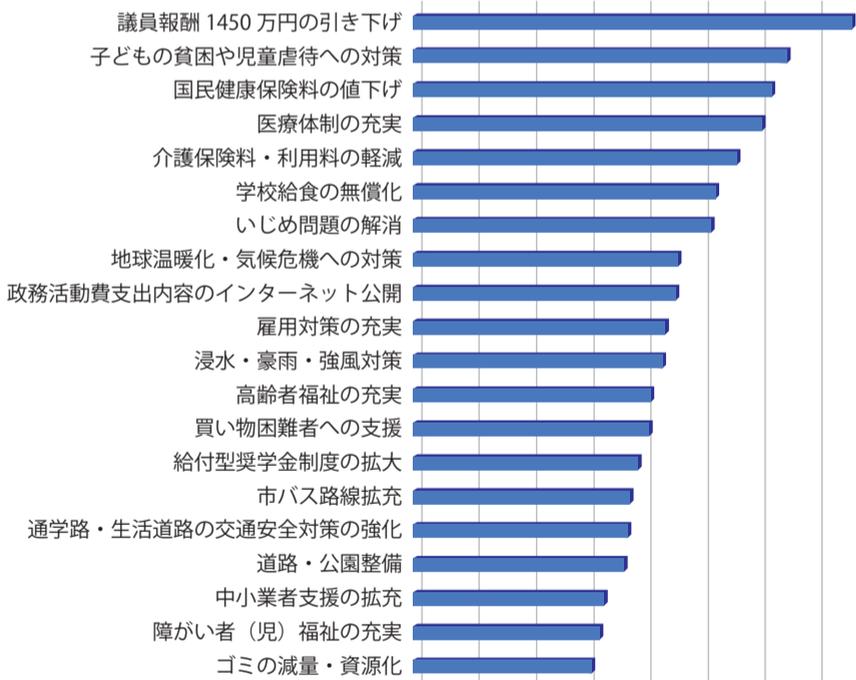
- 「仕事の時間数が減り給料が減り、生活が厳しくなった」(20代)
- 「物価の高騰のわりに、給与は変わらず。社会保険は上昇しているので手取りは低下」(20代)
- 「物価高に対しては、最低賃金を上げる等必要」(20代)
- 「食品の値上がり厳しすぎ。しかし、給料はそれ程上がりません」(50代)
- 「勤務先の収支悪化に伴いボーナスカットされた」(50代)
- 「給与が激減しました」(60代)
- 「年金は削減され、物価があがり生活が窮屈になった」(70代)

# 「子育て支援」

## 市政に望むこと

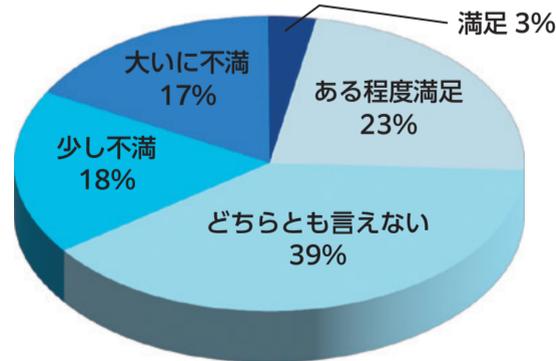
# 「医療介護の負担軽減」を

# 求める声上位に



- 大学費用が高くて払えない。貸与奨学金では支援を受けられない事が多いため給付奨学金を申請したが不合格となりどうしようもできない。
- 中学校も給食にしてほしい。毎日弁当持参になってとても憂鬱。働く母が多い中、『弁当』の選択があることで負担が大きい。
- 駅前の開発とか天守閣木造とか、栄の開発とか、そういうところにお金使うのでなくて、子ども達の給食費をただにするとか、図書館の建て替えとか、敬老パスの回数制限なくしてほしい。
- 物価が上がり、年金も増えないから、国保料の負担大きい(60代)
- 敬老パスはとても歓迎。高齢者が交通費を気にしないで出歩くことができ、健康で長生きにつながっているとのおもう(50代)

河村市政の評価 「不満」が「満足」を上回る



## 議員報酬 増額分は寄付しています

「議員報酬 1450万円の引き下げ」を回答者の41.8%が選択しました。世代別でも、10代を除くすべての世代で1位。

議員報酬は特例的に800万円に戻し、新たな報酬額(制度値)は市民参加の第三者機関で議論して決めるというのが日本共産党市議団の立場です。800万円から1450万円に引き上げられて以降、増額された手取り分は使わずに寄付する態度で臨んでいます。

ご意見・ご感想をお寄せください

日本共産党 ニュース  
名古屋市議団 276号  
2022.12月号

460-8508  
名古屋市中区三の丸3-1-1  
名古屋市役所内  
TEL:052-972-2071  
FAX:052-972-4190

